

## 特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧

## 【令和元年度】

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要			温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容								再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1			特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の完了予定期月	工事の完了予定期月	届出の状況								
					特定開発事業を予定建築物の概要			エネルギー使用の合理化			ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	その他																
					棟番号	用途	延べ面積(m <sup>2</sup> )				太陽光発電(kW)	太風力発電(kW)	スバ発電(kW)	水力発電(kW)	温型潜用熱器(kW)	ヒートポンプヒートポンプ(kW)	その他の設備														
001	(仮称)日本パーカライジング株式会社海老名市中野三丁目1817-1ほか27筆	日本パーカライジング株式会社 代表取締役 松本 滉 共同輸送株式会社 代表取締役 早野 恒一	倉庫・事務所の新築	11,785.27	1	倉庫・事務所	6,858.79	鉄骨造 地上3階 建築面積6,244.10m <sup>2</sup>	・LED 照明設備を採用した。 ・建物におけるエネルギー需要の抑制として風除室の採用、断熱化を行った。 ・大庭、樹木（高、中木）による建物への日射を遮蔽した。	・敷地外周に緑化を実施した。 ・海老名市住みよいまちづくり条例並びに神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を配し人口被覆面積の最小化を図った。	・自動車利用の抑制として駐輪場の整備を行った。 ・交通流の円滑化として駐車スペースを設けた。 ・トラックについては、進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線計画とした。 ・公共交通としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・海老名市住みよいまちづくり条例並びに神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。 ・みどりの協定（第2061号令和元年9月27日）の締結した。 ・公共交通としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用した。	△	△	●	△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率74%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.0以上	棟番号1 ・総合評価★★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率74%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.0以上	2019/10/15	2020/10/31	2020/11/11									
					合計		6,858.79																								
002	スタンレー電気（仮称）秦野第二製作所試験棟新築工事	秦野市曾屋字明治畠242-2他、字大塚戸473-3他	スタンレー電気株式会社 開発環境及び検証環境の施設整備に伴う研究施設等建設のため	40,000.15	1	研究施設	5,096.33	鉄骨造 地上1階 建築面積5,096.33m <sup>2</sup>	・外壁に高断熱建材を用い建物の断熱化を図った。 ・建屋内及び敷地内照明に積極的にLED照明を導入。	・秦野市まちづくり条例に基づく緑化基準（10%）を満たす緑化（4,051.22m <sup>2</sup> ）うち都市計画法に基づく緑化基準（3%）を満たす緑化（1,359.89m <sup>2</sup> ）を含む）の緑化を図った。 ・敷地内の舗道舗装に透水性、保水性に優れたインターロッキングブロックを採用した。	・駐車場（260台）を整備した。 ・サービス搬入用車の一時停車スペースを敷地内に確保した。	・秦野市まちづくり条例に基づく緑化基準（10%）を満たす緑化（4,051.22m <sup>2</sup> ）うち都市計画法に基づく緑化基準（3%）を満たす緑化（1,359.89m <sup>2</sup> ）を含む）の緑化を図った。 ・県道側敷地境界は約1mセッターパックさせ、その部分を緑化した。 ・西側隣地境界側にある既存樹木（桜：35本）の保全した。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・工事関係者にアイドリングストップを励行した。 ・グリーン購入法適合品を使用した。	△	△	●	△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	2019/7/1	2020/6/30	2020/6/15									
					2	守衛所	108.55	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積120.01m <sup>2</sup>																							
					合計		5,204.88																								
003	(仮称)海老名市泉二丁目計画新築工事	海老名市泉2丁目953-4外3筆	日鉄興和不動産株会社 代表取締役社長 今泉 泰彦 J.R西日本不動産開発株式会社 代表取締役社長 國廣 敏彦 東急不動産株式会社 住宅事業ユニット 首都圏住宅事業本部 執行役員本部長 佐藤 知之 小田急不動産株式会社 代表取締役 金子 一郎 相鉄不動産株式会社 取締役社長 杉原 正義 株式会社長谷工コーポレーション 代表取締役社長 池上 一夫	共同住宅新築のための開発事業	48,246.20	1	共同住宅1(A敷地)	38,452.01	鉄筋コンクリート造 地上15階（500戸） 建築面積3,688.40m <sup>2</sup>	・住宅性能評価による省エネルギー等級3を取得予定 ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮する ・共同住宅敷地内の中庭及び開発道路沿いに高木等植栽を配置する ・潜熱回収型給湯器を導入 ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行う ・LED照明採用 ・複層ガラスの採用 ・メインエントランスに風除室を計画	・海老名市住みよいまちづくり条例にて定める事業区域面積の20%以上の緑地を確保 ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮する ・潜熱回収型給湯器を導入 ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行う ・LED照明採用 ・複層ガラスの採用	・共同住宅(A敷地)に駐車場396台（戸数比79.2%）、駐輪場1000台（戸数比200.0%）を設置 ・共同住宅(B敷地)に駐車場350台（戸数比69.4%）、駐輪場1008台（戸数比200.0%）を設置 ・提携公園（約2,894.84m <sup>2</sup> ）の設置及び、公園内に高木等植栽を配置する	・アイドリングストップを励行する ・海老名市住みよいまちづくり条例にて定める事業区域面積の20%以上の緑地を確保（再掲） ・共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を配置する（再掲） ・提携公園（約2,894.84m <sup>2</sup> ）の設置及び、公園内に高木等植栽を配置する	△	△	●	△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	2020/1/6	2024/1/31	2020/5/29 開発事業者									
					2	ゴミ置場・電気室1	168.05	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積172.36m <sup>2</sup>																							
					3	電気室2	35.99	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積39.69m <sup>2</sup>																							
					4	バイク置場A	36.49	鉄骨造 地上1階 建築面積36.48m <sup>2</sup>																							
					5・6	ミニバイク置場B・C	41.16	鉄骨造 地上1階 建築面積41.16m <sup>2</sup>																							
					7~20	駐輪場A~N	1,066.66	鉄骨造 地上1階 建築面積526.66m <sup>2</sup>																							
					21	回廊	40.19	鉄骨造 地上1階 建築面積43.73m <sup>2</sup>																							
					22	共同住宅2(B敷地)	39,397.25	鉄筋コンクリート造 地上15階（504戸） 建築面積4,341.78m <sup>2</sup>																							
					合計		79,237.79																								
004	箱根仙石原PJ	足柄下郡箱根町仙石原字六郎兵衛1246番702他	株式会社フジタ 東日本開発事業部 執行役員事業部長 増山 祐一	箱根地域の増大する宿泊施設の需要に応え、ホテルを建設する。	19,365.32	1	ホテル	10,349.51	鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上2階、地下2階 建築面積4,931.61m <sup>2</sup>	・LED照明設備を採用する。 ・共用棟において、自然採光を利用する計画とする。 ・電気自動車充電設備（充電器3台、高速充電器2台の計																					

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行なう土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要			温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容			再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1						特定建築物に係る地球温暖化への取り組みの評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化への取り組みの評価の目標	工事の完了予定期間	工事の完了予定期間	届出状況																
					特定開発事業を行なう区域の面積(m <sup>2</sup> )			エネルギー使用の合理化			ヒートアイランド現象の緩和			交通環境への配慮			工事に係る配慮			太陽光発電	太陽熱利	風力発電	水力発電	温型潜熱	温型潜熱	ヒートアイ	その他の										
					棟番号	用途	延べ面積(m <sup>2</sup> )	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考												
006	G L P 相模原プロジェクト	相模原市中央区田名字白雨台3532番3外	相模原1ロジスティック特定目的会社 取締役 北川 久芳 相模原2ロジスティック特定目的会社 取締役 名古路 秀和 相模原3ロジスティック特定目的会社 取締役 稻葉 孝史 相模原4ロジスティック特定目的会社 取締役 小島 直子	倉庫の新築・増築	294699.44(道路提供62.1m <sup>2</sup> 含む)	1(SITE2倉庫)	倉庫	139,739.86	建築面積 28,682.81m <sup>2</sup> 5階建て・鉄筋コンクリート造	・太陽光発電設備を導入する(SITE3倉庫)。 ・断熱性の高い製品を採用することにより、建物内への熱の侵入を低減し、空調負荷を削減する。(再掲) ・建物内への熱の侵入を低減し、空調負荷を削減する。 ・太陽光発電設備を導入することにより、建物内への熱の侵入を低減し、空調負荷を削減する。 ・相模原市開発事業基準条例第31条に基づき、敷地面積の10%の緑地を確保する。(合計 29,728.93m <sup>2</sup> 10.09%) (再掲)	・対象事業実施区域内に十分な車両待機場、駐車場、滞留長を設けることにより、対象事業実施区域外での車両待機や滞留を防止する。 ・開発区域全体として複数の車両出入口を設けることで、交通の分散化を図る。	● 1,000kw △	△コーチェネ	【棟番号1】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率90%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上 【棟番号2】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率-ヒートアイランド現象の緩和スコア2.0以上 ・建設発生土は、工事現場内で可能な範囲で埋戻土等として再利用する。 ・特定建設資材廃棄物は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づき、工事現場内で分別を行い、極力資源化に努める。	● 1,000kw △	△コーチェネ	【棟番号3】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率90%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上 【棟番号4】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率90%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上 【棟番号5】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率90%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上 【棟番号6】 ・総合評価B+以上 ・地球温暖化への配慮ライサイクルCO2排出率90%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上	2024/1/6	2024/11/30	2024/5/7 土地の位置及び区域 開発事業者 区域の面積 棟番号 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容 再エネ活用検討措置及び評価目標																	
						2(SITE2駐車場棟)	自走式駐車場	11,244.46	建築面積 2,250.85m <sup>2</sup> 5階建て・鉄骨造																												
						3(SITE2付属棟)	駐輪場・バイク置場等	846.35	建築面積 705.47m <sup>2</sup> 1階建て・鉄骨造																												
						4(SITE3倉庫)	倉庫	90,272.00	建築面積 17,890.00m <sup>2</sup> 6階建て・鉄筋コンクリート造																												
						5(SITE3付属棟)	駐輪場・バイク置場等	540	建築面積 570.00m <sup>2</sup> 1階建て・鉄骨造																												
						6(SITE4倉庫)	倉庫	99,768.41	建築面積 25,257.39m <sup>2</sup> 4階建て・鉄筋コンクリート造																												
						7(SITE4付属棟)	駐輪場・バイク置場等	656.24	建築面積 838.22m <sup>2</sup> 1階建て・鉄骨造																												
						合計		343,067.32																													
007	(仮称) 箱根強羅PJ	足柄下郡箱根町強羅字向山1320番56	ヒューリック株式会社 代表取締役社長 吉留 学	旅館の新設	10,352.53	AB棟	旅館	2,458.99	鉄筋コンクリート造 地上4階・地下1階 (客室17室) 建築面積1,265.13m <sup>2</sup>	・LED照明設備を採用し、エネルギー使用量を抑制した。 ・カーテンレールを設置し、日射遮蔽に配慮した。 ・節水型衛生器具の導入した。 ・共用部の一部に全熱交換器を採用し、エネルギー消費を抑制した。 ・共用部の照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行った。 ・屋根及び外壁に硬質発泡ウレタンフォームを採用し断熱化を図った。 ・窓ガラスにペアガラスを採用し、断熱化を図った。	・建物、駐車場、通路以外の場所について、高木を中心とした樹木及び地被類を植栽することで気温の上昇を抑制した。 ・箱根町開発事業指導要綱第24条に規定する緑地を設置した。(再掲)	●	△	△コーチェネ	【棟番号AB】 ・既存樹木を極力残した配置計画とし、緑の保全に努めた。 ・箱根町開発事業指導要綱第24条に規定する緑地を設置した。(再掲)	●	△	△コーチェネ	【棟番号C】 ・敷地の広さを活かし、利用者、スタッフの駐車場を確保した。 ・荷捌きを敷地内でできるようスペースを確保した。 ・環境負荷の少ない資材をできる限り採用した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	● 1,000kw △	△コーチェネ	【棟番号AB】 ・総合評価★★★ B+以上	● 1,000kw △	△	△コーチェネ	【棟番号C】 ・総合評価★★★ B+以上	● 1,000kw △	△	△コーチェネ	【棟番号C】 ・総合評価★★★ B+以上	● 1,000kw △	△	△コーチェネ	【棟番号C】 ・総合評価★★★ B+以上	● 1,000kw △	△	△コーチェネ
						C棟	旅館	1,803.08	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階(客室21室) 建築面積681.04m <sup>2</sup>																												
						メイン棟	旅館	1,538.53	鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階(客室1室) 建築面積679.76m <sup>2</sup>																												
						連絡通路1	渡り廊下	51.14	木造 地上1階 建築面積51.14m <sup>2</sup>																												
						連絡通路2	渡り廊下	75.22	木造 地上1階 建築面積75.22m <sup>2</sup>																												
						合計		5,926.96																													
008	神奈川厚木物流倉庫建設工事	厚木市三田字仲町1569他	株式会社富士ロジテック 代表取締役 井出 洋光 東京システムカーゴ株式会社 代表取締役 南野 耕治 関電不動産開発株式会社 代表取締役 藤野 研一	特定流通業務施設の建設	16,117.83	1	倉庫	16,328.59	鉄骨造 地上2階 建築面積8638.40m <sup>2</sup>	・倉庫エリア、事務所エリア共に高効率的なLED照明設備を導入し、省エネ化を図った。 ・空調エリアにおいて、全熱交換機を採用し、空調負荷に配																											

## ※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

△：検討を行った設備

●：検討を行い、導入を予定している設備

## ※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

## 高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空気調和設備

## LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コーデュネ：コーデュネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。）

EMS：エネルギー管理システム（エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。）

### ※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るために実施しようとする措置の内容

## 再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合

掛圖二：該圖展示了特布時的外觀，這是一張經過修改的掛圖二：該圖展示了特布時的外觀，由兩位